

海外研修事前研修会を行いました



11月26日(火)、ISA シンガポールオフィス代表・齋藤貴臣さんにお越しいただき、海外研修参加者に向けて、研修先のシンガポールやチャレンジすることの大切さについてお話していただきました。

齋藤さんは、1枚の絵をどのように捉えるかという質問を参加者に投げかけ、そこから物事の捉え方は多様であること、大切なのは自分の考えを発信することであると話しされました。参加者は、コンフォートゾーン(自分の居心地の良い場所)から抜け出し、ストレッチゾーン(現状から少しチャレンジをして届く場所)に飛び出すことの大切さを学びました。

また、東南アジアの詳しい現在の様子を聞くこともできました。ビジネスの中心地としてだけでなく、高度な教育、人材、建築などの分野でシンガポールは世界を牽引しているとの話を聞き、生徒の東南アジアに対する価値観やイメージが大きく変わった印象を受けました。

<以下参加生徒の感想>

・アジアに対する見方が変わったように感じます。自分の中でより世界の見方や考え方が深まるように調べていきたいです。

・自分はいつも安全安心な場所において、それでは大きな成長ができないと分かったので一歩踏み出して未知の場所に行くことが大切だと学びました。百聞は一見にしかずというように、事前研修で学んだ事を実際に見てきたいです。

・シンガポールは、とても進歩している国だということや資源が自国で確保できない環境の中で発展を遂げていることを学んだ。また、小さな変化を積み重ねることに価値があるというお話が印象に残った。もっとシンガポールについて知りたいと思ったし、シンガポールに行くまでに、自分が続けてできそうなことをチャレンジしたいと思いました。